

26. 血液腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん

※別紙5に入力した内容が反映されています。

※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制

○:あり ×:なし

○

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日～12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている医師数	化学 療法	移植		放射線療法		体外 照射	全身 照射				
					自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髓移植または臍帯血移植			治療内容	治療実績	医師の 専門 分野		
1	内科	14	3	状況 ○	○	×	×	×	×	×	適切かつ正確なクオリティーを維持できるよう な診療を行います。	ア http://www.minoh-hp.jp/DEP/INT/index.html		
2				状況 実績								ア http://		
3				状況 実績								ア http://		
4				状況 実績								ア http://		
5				状況 実績								ア http://		

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例:急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
	急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫